# 第3章 奈良市の高齢者の現況

#### 1. 高齢者の現況と今後の見込み

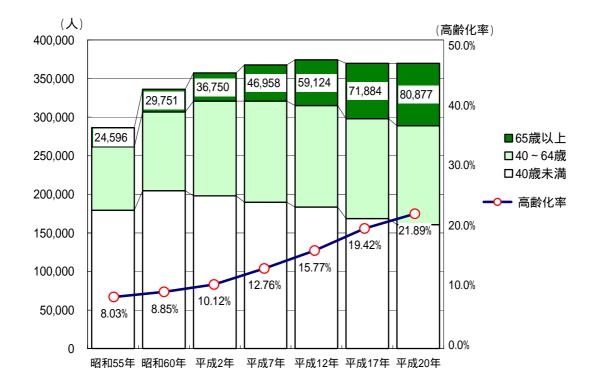
#### (1)人口構成の推移

本市の総人口(旧月ヶ瀬村、旧都祁村を含む)は平成 12 年まで増加を続け、374,944 人となっていますが、平成 17 年では 370,102 人と減少し、平成 20 年では 369,523 人とさらに減少しています。

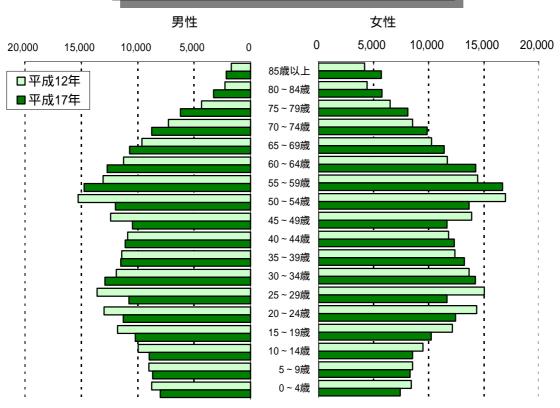
一方、65 歳以上の高齢者人口は年々増加を続け、平成 20 年では 80,877 人に達しており、高齢化率は 21.89%となっています。

	<u>に口!</u>	推移							単位∶人
			昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成20年
	40	歳未満	179,141	204,660	197,728	189,507	183,424	168,356	160,496
	40	~64歳	82,466	101,772	122,825	131,073	131,630	129,620	128,150
	65	歳以上合計	24,596	29,751	36,750	46,958	59,124	71,884	80,877
		前期高齢者	16,215	18,091	21,614	28,927	35,691	40,706	45,198
		後期高齢者	8,381	11,660	15,136	18,031	23,433	31,178	35,679
	年	齢不詳	20,190	128	5,790	501	766	242	0
ź	総人	.П	306,393	336,311	363,093	368,039	374,944	370,102	369,523
Ti	高齢	化率	8.03%	8.85%	10.12%	12.76%	15.77%	19.42%	21.89%

資料は国勢調査より。但し、平成20年は住民基本台帳(10月1日時点)を基にしています。 旧月ヶ瀬村、旧都祁村を含みます。



## 平成12年と平成17年男女別年齢階級別人口分布比較



年齢不詳分は除外しています。

#### (2)計画期間における人口推計

平成 12 年と平成 17 年の国勢調査人口をもとに、計画期間の人口を推計した結果、下表のとおりとなります。

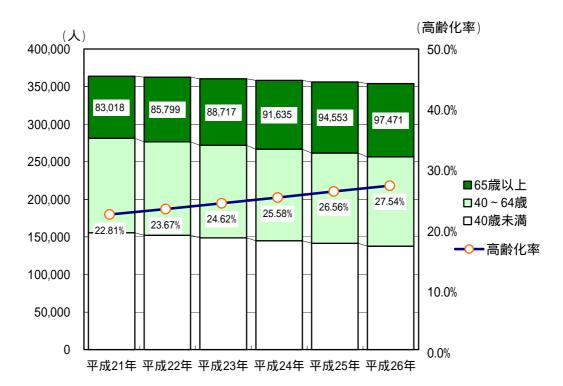
本市の総人口は年々減少し続け、平成 23 年で 360,311 人、平成 26 年では 353,906 人になると見込まれます。

一方で、65 歳以上の人口は増加し続け、平成 23 年で 88,717 人、平成 26 年で 97,471 人、高齢化率は平成 23 年で 24.62%、平成 26 年で 27.54% にまで達する見込みです。

単位∶人

		推計值								
		平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年			
総人口		363,957	362,446	360,311	358,176	356,041	353,906			
40歳	未満	155,325	152,050	148,456	144,862	141,268	137,674			
40 ~	64歳	125,614	124,597	123,138	121,679	120,220	118,761			
65歳	以上	83,018	85,799	88,717	91,635	94,553	97,471			
前	i期高齢者	45,472	46,663	48,135	49,607	51,079	52,551			
後	期高齢者	37,546	39,136	40,582	42,028	43,474	44,920			
高齢	化率	22.81%	23.67%	24.62%	25.58%	26.56%	27.54%			

推計方法:コーホート要因法

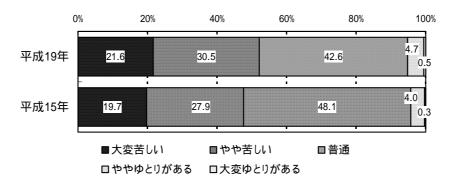


コーホート要因法:人口推計の手法として一般的に用いられる手法で、人口を年齢別に5歳毎の階層(コーホート)に分け、各階層が1年後にどれだけ増減するかを確率として計算するもの。

#### (3)全国の高齢者の経済生活

#### 高齢者世帯の生活意識

平成 19 年には「大変苦しい」と回答した人が 21.6%、「やや苦しい」 と回答した人が 30.5%となり、5 割以上の人が「苦しい」と感じています。



資料:厚生労働省「国民生活基礎調査」(平成15年,平成19年)

(注)高齢者世帯とは、65歳以上の者のみで構成するか、又はこれに18歳未満の未婚の者が加わった世帯をいいます

#### 高齢者世帯の所得

平成 14 年から平成 18 年の間、一世帯あたりの平均所得額は 1.7 万円増加していますが、世帯人員一人あたりでは 0.6 万円減少しています。

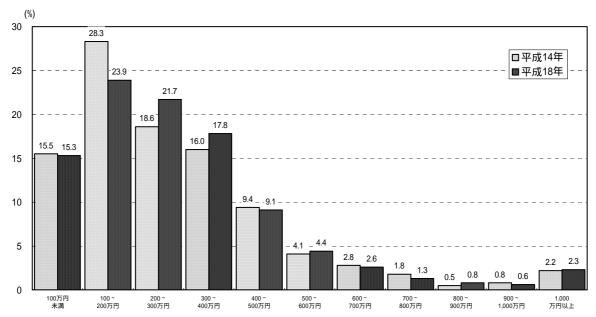
	平均所得金額 一世帯あたり 世帯人員一人あたり(平均世帯人員						
平 成 18 年	306.3万円	195.5万円(1.57人)					
平 成 14 年	304.6万円	196.1万円(1.55人)					

資料:厚生労働省「国民生活基礎調査」(平成15年、平成19年)

(注)高齢者世帯とは、65歳以上の者のみで構成するか、又はこれに18歳未満の未婚の者が加わった世帯をいいます。

#### 高齢者世帯の年間所得の分布

高齢者世帯の年間所得の分布を見ると、平成 18 年では 100~200 万円が 23.9%と最も高くなっています。平成 14 年と比較すると、100~200 万円が減少し、200~400 万円が増加しています。



資料:厚生労働省「国民生活基礎調査」(平成15年、平成19年)

(注)高齢者世帯とは、65歳以上の者のみで構成するか、又はこれに18歳未満の未婚の者が加わった世帯をいう。

#### 2. アンケート調査及び奈良市民意識調査結果について

#### (1)アンケート調査及び奈良市民意識調査結果の活用

アンケート調査については、平成 20 年 1 月 18 日から同年 1 月 31 日を調査期間として、40 歳以上の市民を対象に実施し、その結果を活用しました。なお、配布・回収の状況については、下表のとおりです。また、幅広く市民の意見を反映させるため、平成 19 年 8 月に 20 歳以上の市民を対象に実施した奈良市民意識調査結果の一部を活用しました。

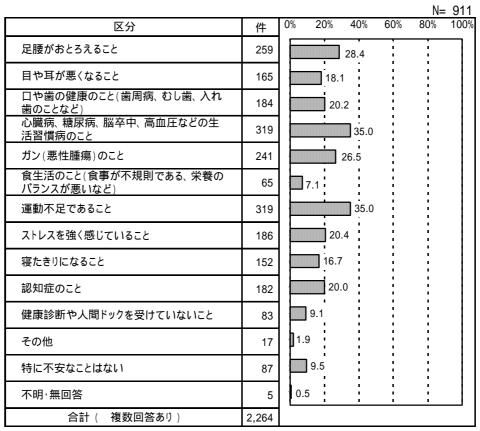
アンケート調査の配布・回収状況

調査対象	要支援・要介護認定 を受けていない方 で年齢が 40 歳以上 65 歳未満の方から 無作為で1,800人を 抽出	要支援・要介護認定 を受けていない方 で年齢が 65 歳以上 の方から無作為で 1,800人を抽出	要支援・要介護認定 を受けている方か ら無作為で3,000人 を抽出
配布数	1,800人	1,800人	3,000人
回収数	915 人	1,322 人	1,888人
回収率	50.8%	73.4%	62.9%
有効調査票数	911 件	1,314 件	1,874件

#### (2)調査の結果の概要(要支援・要介護認定を受けていない40歳以上65歳未満の方)

健康について気にしていること・不安なこと

「心臓病、糖尿病、脳卒中、高血圧などの生活習慣病のこと」「運動不足であること」がともに35.0%で最も高くなっています。



アンケート調査結果のグラフで「N」とはサンプル数(=回答者数)を表しています。

### 日常生活や将来について不安なこと

「自分や家族の健康のこと」と回答した人が 71.0%で最も高くなっています。

							911
区分	件	0%	20%	40%	60%	80%	100%
自分や家族の健康のこと	647		Ť		•	71.0	
住まいのこと	120		13.2	i 1	į		
適当な仕事がないこと	69		7.6	1 1 1	:	1	
生活のための収入や年金・貯蓄などの経済 的なこと	485		1	<u>.</u>	53.2	:	İ
貯金、家屋、土地などの財産の管理のこと	65		7.1	1 1 1	! !	1	
介護が必要になった時のこと	454		1	1	49.8	! !	
親や兄弟姉妹などの世話のこと	245			26.9	! !	! !	
子どもや孫の将来のこと	287			31.5		:	
子どもやその家族との同居がうまくいくかどう か	17	1.	.9				
ひとり暮らしになること	124		13.6	1 1 1	: :	1	
家庭や地域のなかで孤立し、頼れる人がい なくなること	55		6.0		;	:	
近隣や友人、知人との付き合いのこと	42	4	1.6	:	:	1	
これからも生きがいをもって生活していける かどうか	166		18.2	2	!		
だまされたり、犯罪に巻き込まれたりすること	73		8.0	1	1	1	
火災や地震などの災害に巻き込まれること	260			28.5	:	:	
社会の仕組み(法律、社会保障など)が大き く変わること	199		21	.8		:	
その他	9	1.	0	! ! !	! ! !		
特に不安なことはない	53		5.8	1	: ! !	1	
不明·無回答	3	0.	3	! !	1	!	
合計( 複数回答あり)	3,373						

### (3)調査の結果の概要(要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の方)

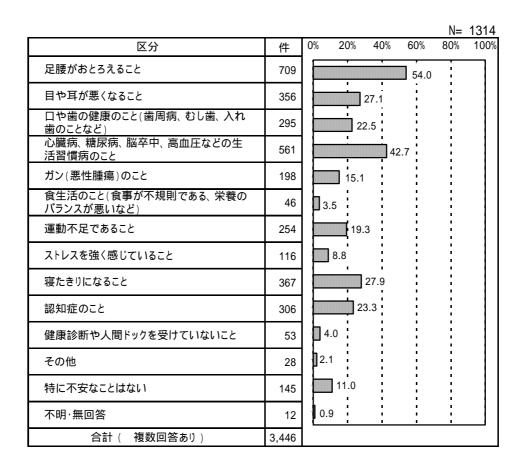
#### 世帯構成について

「配偶者のみの世帯」が 45.7%で最も高くなっており、「配偶者と子どものみの世帯」が 13.9%と続いています。

						N=	1314
区分	件	0%	20%	40%	60%	80%	100%
ひとり暮らし	170		12.9	i	; ;		
配偶者のみの世帯	600				45.7	1 1 1	
配偶者と子どものみの世帯	182		13.9		1		
配偶者と子ども夫婦のみの世帯	15	1.	1		! !		
配偶者と親のみの世帯	13	1.	0	! !	1 1 1	1	
親のみの世帯	7	0.5	5				
3世代以上の世帯(親を含む)	17	1.1	3				
3世代以上の世帯(親を含まない)	159		12.1	! !	1 1 1	! ! !	
子ども夫婦のみの世帯	8	0.6	3		! !		
子どもまたは子どもの配偶者のみの世帯	91	-	6.9	! !	1	1	
兄弟姉妹のみの世帯	13	1.0	0		! !		
その他	26	2.	0		! !		
不明·無回答	13	1.0	0 !	! !	! !	! !	
合計	1,314						

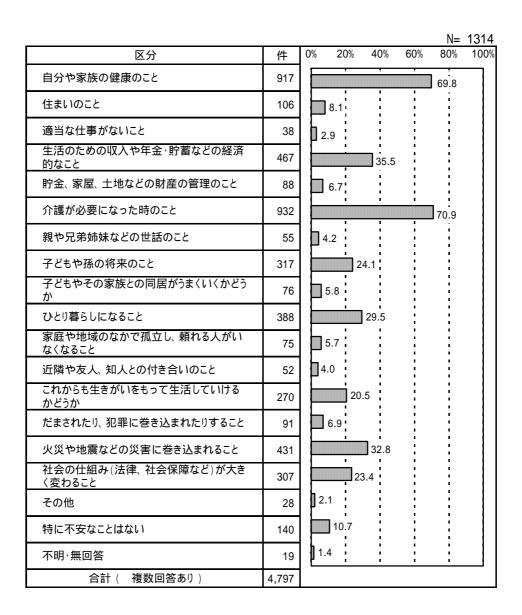
#### 健康について気にしていること・不安なこと

「足腰がおとろえること」が 54.0%、「心臓病、糖尿病、脳卒中、高血圧などの生活習慣病のこと」が 42.7%、「寝たきりになること」が 27.9%、「目や耳が悪くなること」が 27.1%、「認知症のこと」が 23.3%、「口や歯の健康のこと(歯周病、むし歯、入れ歯のことなど)」が 22.5%となっています。



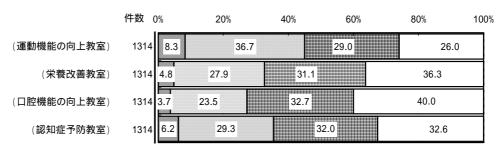
#### 日常生活や将来について不安なこと

「介護が必要になった時のこと」と回答した人が 70.9%で最も高く、次いで「自分や家族の健康のこと」が 69.8% となっています。



#### 介護予防教室の参加意欲

運動機能の向上教室が最も比率が高く、「ぜひ参加したい」が 8.3%、「機会があれば参加したい」が 36.7% で、約 4 割の方が参加意欲を持たれています。



- ■ぜひ参加したい
- □機会があれば参加したい
- ■参加は考えていない・参加したくない
- □不明·無回答

### (4)調査の結果の概要(要支援・要介護認定を受けている方)

#### 世帯構成について

「配偶者のみの世帯」が 26.3%で最も高くなっており、「ひとり暮らし」が 20.1%と続いています。

		N= 1874
区分	件	0% 20% 40% 60% 80% 100%
ひとり暮らし	377	20.1
配偶者のみの世帯	492	26.3
配偶者と子どものみの世帯	86	4.6
配偶者と子ども夫婦のみの世帯	18	1.0
配偶者と親のみ	5	0.3
親のみの世帯	9	0.5
3世代以上(親を含む)の世帯	11	0.6
3世代以上(親を含まない)の世帯	343	18.3
子ども夫婦のみの世帯	124	6.6
子どもまたは子どもの配偶者のみの世帯	248	13.2
兄弟姉妹のみの世帯	17	0.9
その他	114	6.1
不明·無回答	30	1.6
合計	1,874	

### 主な介護者の年齢

60歳~69歳の年齢層が21.0%と最も高くなっています。

					N=	1621
区分	件	0% 20%	40%	60%	80%	100%
80歳以上	196	12.1		i		
70~79歳	315	19	.4		į	
60~69歳	341	2	1.0	1		
50~59歳	314	19	.4	1		
40~49歳	100	6.2	į		:	
30~39歳	32	2.0	1		:	
29歳以下	4	0.2				
わからない	86	5.3				
不明·無回答	233	14.4	. i	1	1	
合計	1,621					

### 要介護認定結果について

「予想どおりの認定結果であった」が 52.8%と最も高くなっており、次いで「予想より軽い認定結果であった」が 24.0%となっています。

						N=	1874
区分	件	0%	20%	40%	60%	80%	100%
予想どおりの認定結果であった	989				52.8	i	
予想より重い認定結果であった	52	2	.8	÷		i	
予想より軽い認定結果であった	449		2	24.0			
わからない	303		16.2	2 :	į	i	
不明·無回答	81	1	4.3		1		
合計	1,874						

### 現在の介護保険サービスの利用状況

約8割の人が「利用している」と回答しています。

						N=	1874
区分	件	0%	20%	40%	60%	80%	100%
利用している	1,464		Ţ	,	·	78	.1
以前は利用していたが現在は利用していな い	159		8.5	! ! !	:	:	
利用したことがない	175		9.3	1 1 1	! ! !	:	
不明·無回答	76	4	.1	1		:	
合計	1,874						

### 老化防止のために日頃から心がけていること

「定期的に健康診断を受けている」が 43.6%、「栄養のバランスのよい食事をしている」が 38.3%、「新聞や本を読む」が 35.4%で、特に比率が高くなっています。

		N= 1874
区分	件	0% 20% 40% 60% 80% 100%
歩いたり運動したりしている	591	31.5
栄養のバランスのよい食事をしている	717	38.3
定期的に健康診断を受けている	817	43.6
社会活動に積極的に取り組んでいる	27	1.4
人との交流をとるように心がけている	355	18.9
新聞や本を読む	663	35.4
文章を書いたり計算したりする	250	13.3
その他	102	5.4
特に取り組んでいない(取り組むことができ ない)	456	24.3
不明·無回答	117	6.2
合計( 複数回答あり)	4,095	

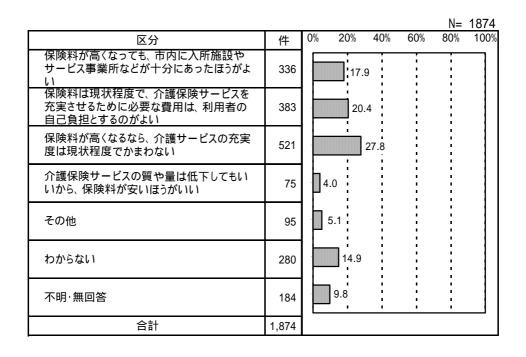
#### 介護保険料の負担感について

「ある程度負担に思うが、生活が変わるほどではない」が 56.1%、「日常生活の中で、あまり負担に思わない」、「日常生活の中でまったく負担に思わない」が合わせて 22.0% となっています。

		N= 1874
区分	件	0% 20% 40% 60% 80% 100%
日常生活の中で、まった〈負担に思わない	88	4.7
日常生活の中で、あまり負担に思わない	325	17.3
ある程度負担に思うが、生活が変わるほど ではない	1,051	56.1
負担が重く、生活する上で影響がある	279	14.9
不明·無回答	131	7.0
合計	1,874	

#### 今後の介護保険料のあり方について

「保険料が高くなるなら、介護サービスの充実度は現状程度でかまわない」が 27.8%と最も高くなっており、次いで「保険料は現状程度で、介護保険サービスを充実させるために必要な費用は、利用者の自己負担とするのがよい」が 20.4%、「保険料が高くなっても、市内に入所施設やサービス事業所などが十分にあったほうがよい」が 17.9%と続いています。



#### (5) 奈良市民意識調査結果

重要と思う介護保険や老人保健福祉施策について

重要と思う介護保険や老人保健福祉施策についての設問では、「安心して入所できる施設サービスの充実」が最も多く 52.2%、次いで「自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実」が 50.9% となっています。

